1992
9
No.394

早くもスーパー特急が！

松代の「しちんち祭り」に早くもスーパー特急がお目見えしました。難工事だった「鍋立山トンネル」も、まもなく貫通の予定ですが、このスーパー特急も完成までに一週間もかかる難工事だったようです。松代の皆さんの「ほくほく線」に対する期待が伺われます。

主な内容

町民対話集会……❷
ふれあいスポーツの日……❻
みんなのトピックス……❿
東京松代会シンポジウム……⓫
東京発、文芸……⓬⓭
お知らせ……⓮⓯

話集会

町づくり―

明るく豊かな町づくりを目指す関谷町長は、皆さんの声を町づくりに生かしたいと、今年も町民対話集会を開催しました。今回は峰方、伊沢、山平、南部、奴奈川、松代の六地区に町内を分け、それぞれ清水、犬伏、蒲生、下山、室野、松代の集会施設を会場に行われました。

今月号ではその内の、峰方、伊沢、山平地区の各対話集会の内容（要旨）を紹介致します。この三地区では、道路の改良や農業問題、学校統合、芝峠の宿泊施設などに関する意見等が多く出され、これらに対する関心の高さが伺われました。

なお、類似の意見等につきましては、開催の早い会場に掲載し割愛させていただきました。

また、Qは質問・要望・意見、Aは町の考えを要約してあります。

峰方地区（清水地区開発センター）

8月1日 41名

Q清水～桐山間の県道の改良、雪崩防止工事の実施を。

A今年は観光関連で芝峠温泉の入口をやったが、清水～桐山間についても、今後も県に働きかけていきたい。

Q温泉の中に町道を開設しているが、県道はどうなるのか。

A県道は県道として改良をすると思う。今現在まったく別のものである。

Q現在、清水小学校は休校中であるが、将来入学する生徒が出てきた場合どうなるのか。

A複式学級にしても十人位いないと教育効果も上がらないということで、生徒がいても松代に通ってもらうことになると思う。学校は生涯学習センターとしての利用になるのではないか。

Q公民館の屋根に無雪化を。

A今まで要望がなかったが、今後要望が多くあれば検討したい。

Q清水の薬師の遊歩道を整備していただいているが、展望台も作っていただきたい。

A自然を大切に考えているが、展望も大事であるので、該当する補助制度を見つけて対処したい。

Qゴミ処理の費用がかさむのでできるだけ自分で処理してくれ、とのことであるが、リサイクルできる紙などは、町として回収する考えはあるか。

A現在は、回収業者にお金を払わないと回収してくれないケースもあるようで、なかなか難しい。普通のゴミとして出していただくより方法がない。

Q会沢公民館の非常階段が腐食しているので改修を。

A現場を見て、来年度予算で対応したい。

Q萬羽五一さん宅の所に雪崩が出るので、防雪棚を。また、「なわしろ地区」の地滑り防止工事を。

A現場を見て、関係機関に働きかけたい。

Qいろいろな事業により、会沢部落の末端水路が小さくなってきているので検討を。

A治山治水工事の継続については関係機関に要望したい。

Q町の下水道に対する考え方は。

A部落全員の同意と個人負担があるので、なかなか現状では難しいのではないか。そういうことで町は合併処理槽を推進している。

Q松代の公共用地についてはどうなっているのか。また、住宅用の宅地についてはどのように考えているのか。

A池田地区は交渉がうまくいかず、現在は下町地区の開発を進めている。公共用地を確保した残りについては、住宅用地にと考えている。大新田辺りも住宅

Q峰方地区の大規模開発の関係で「推進委員会」などをつくったが、最近音沙汰がない。どうなっているのか。

Aオーナーについては、いくつか話があったがまとまらなかったようである。現在も、今までと違った範囲でオーナーを捜しているので、松代の事務所は閉鎖しない。推進委員会も進展があったら開催したい、とのことである。

町民対
―あなたの声で

用地として検討したいと思う。

Q 今後十年くらいに若者が夢を持てるような構想があるか。

A 交通体系が整備されてくるので、若者が定住する町づくりを総合的に進めたい。

Q 松代～岡野町線の蓬平地内の改良はどうなるか。現道改良にとなると家屋の移転があるので早めに検討を。

A 現在のところ、現道改良ということである。

Q 堀割から板金屋の間は今年工事をするのか。

A 資料がないのでよく分からない。（後日、松代分所に照会の結果、臨交Aの事業で、事業費は千九百万円決定している。まだ発注（入札）はしていないが工事はするということである）

Q 集落内の幹線道路の除雪についてどのように考えているか。

A 幹線道路についてはできるだけ町でやりたい。それ以外は保安要員等で対応できればと思う。

Q 保安要員の増員計画は。

A 必要であれば県に申請すれば可能であると思う。

Q 町の活性化、若者の活性化対策は。

A 若者定住条例や住宅建設などもやっている。駅のふるさと情報会館にも若者が集まれるようないろいろな施設を造りたい。

Q レストビレッジ峰などには、地元の意見や地域の特徴を取り入れていないと思うが。

A 町としては、いろいろな会にも諮って決定しているところだが、補助事業でもあるので制約もある。

Q 部落の青年会が主催する対話集会に出席してもらえるか

A 機会があれば出席したい。

Q 芝峠温泉の宿泊施設の従業員は住込が通いか。

A 町直営の運営会社の様なものをつくってやりたい。調理師等の特殊職は個別に採用したい。その他の職種は公募し、来年の四月採用を考えている。開業は七月（必要な人員については検討中であり、決定次第チラシ等により募集したい。従業員は通いになる。

Q 芝峠温泉の宿泊施設の経営はなかなか大変だと思うが。

A 宿泊施設の建設は、雇用の場の創設という意味もあるが、ホテルになっても良いと言うことではないので、ならないよう一生懸命やりたい。

伊沢地区（犬伏集落開発センター）
8月12日
52名

Q 若い女性の働き場所の確保を。

A 若者定住についてはいろいろやっているが、なかなか難しい。建設会社、電子工場など地元企業もあるので、その中で選択していただくとありがたい。アートネイチャーが来てくれるとのことで、若者の就職も決まっているようである。また、芝峠温泉やデイサービスセンターなどの建設は、雇用の場の拡大という狙いもある。

Q Uターンの窓口があると思うが、その利用状況について。また、その効果があったかどうか。

A 職安の事業でアンケート調査などをやった。その結果、松代に戻りたいという人も含めて六十人位に広報や求人情報などの提供を行っている。県の登録制度には四～五人程度の登録である。

Q デイサービスセンターの概要について。

A 在宅福祉のお手伝いということで建築中であるが、1日十五人程度が利用できる。寝たきり老人、車イスなどの専用車を準備している。職員も募集中であるが、一日十五人を面倒見るには十五人の職員が必要ということで、ボランティアの方々をお

Q松代町の農業も所得補償をしなければやっていけない。国県に働きかけを。

A中山間地の農業については、国でもこれから検討に入るということで現場の意見を聞く方向にある。八月に当町において公聴会があるので、そのような機会に訴えていきたい。

Q国の新農政プランは大農家の育成のような気がするが、骨子について分かる範囲で説明を。

A国の新農政プランはプランとしても、中山間地の農業も生き残れるような施策を機会のある ごとに要望したい。

Q小学校の統合問題の現状と見通しについて。

A清水小は休校、荻平小については今年から松代小に通学している。儀明小、北山小、蒲生小、寺田分校についても、来年から松代小に通うことに決まった。菅刈分校、蓬平小については晩秋には結論が出る見込みである。

願いしなければならない。社会福祉協議会もセンターに移し、ホームヘルパーも駐在させる。また、老人給食サービスもセンターで調理するなど、福祉行政の拠点とする考えである。

Q保険税は平均一万五千円下がったが、昨年度八千万円も繰越（積み立て）が出た。一世帯当たり十万円になるが、どうしてもっと下げられないのか。

A去年は一億五千万円を税として頂いたが、今年は一億三千万円とする予定である。もっと下げろということであるが、医療費が高い割りには保険税は安い方である。大きな病気になると何千万ということもあり、積み立て（基金）も必要である。

Q滝沢への町道整備については、ご尽力をいただき感謝している。今後も継続を願いたい。

A冬期の交通確保ということで危険個所から整備を進めている。今後も継続したい。

Q郷土を愛する教育をするように、学校の先生にお話ししていただきたい。

A町の教育の基本は郷土を愛する心を育てるというのが最重要課題である。進路指導は主として高校になっているが、機会がある度に地元に残る指導をしていただきたいということでお願いをしている。ＰＴＡなどを通じてお願いしたらどうか。子供の教育は親と先生であるので、今後も機会があれば学校に申し入れたい。

Q鍋立山トンネルの掘削状況を。

A先進導坑はあと五十㍍足らずということで、今年中には貫通できると思う。これにより、ほくほく線の開業が早くなる可能性がある。町としても貫通祝などもやりたい。

Q一度対象になると、ゆとりが出ても支給されるなど、生活保護費の支給に問題があるようだが。

Aそういったことを念頭において今後の事務を進めたい。

Q犬伏～海老間の道路整備をする考えはあるか。

A現在、全線町道にはなっていないので、町道としての改良の計画はない。

Q当町で男子主導型の工場をつくる場合、水が必要になると思うが大丈夫か。

Aダムができればある程度の水は供給はできると思う。しかし、工場の具体的な内容を聞いてみないとはっきりとは申し上げられない。

Q親（老人）が町内におり、子供が町外にあるような場合、町が間に入って今後のことについて相談するような機会を設ける必要があるのではないか。

A老人問題は、入院するにしても特養に入るにしてもお金がかかる。また、在宅であればなおさら大変である。重要な問題であるので、今後も心して取り組みたい。

※最後に犬伏区長のあいさつで、犬伏城址の遊歩道、松苧神社の参道の整備の要望があり終了。

山平地区（蒲生生活改善センター）

8月20日
56名

Q前町長からの約束である儀明～中ン田線（旧国道）の舗装を。とりあえず急勾配・急カーブの箇所だけでもどうか。

A町としても前向きに取り組んでいる。金額がかさむ関係で補助事業（中山間地）でやりたいと考えていたが、道路が広過ぎるなど事業費の関係で無理のようだ。現物支給（生コン等の原

材料支給）や他の補助事業等で考えてゆきたい。

Q高齢化が進んで現物支給といっても容易でない。町でやってもらえないか。

A詰負にすると金額がかさむので、少しの距離しかできない。そういうことで現物支給をしているところだが、町全体的にそういう傾向になってくれば考えなければならない。

Q寺田に患者輸送車を運行していただいて大変喜んでいる。

A来年からはスクールバスとして、今と同じく二往復する。

Q廃校になる寺田分校の有効利用（再利用）を。

A校舎の再利用については地域の要望にこたえたい。関係方面に呼びかけているところである。何とかなると思うが、移築になることは承知していただきたい。

Q中学の部活で遅くなる生徒のために親が迎えに行っているが、バスの運行はできないか。

A今のバスの時間帯を遅くすれば小学生が困る。また、部活専用車の運行となれば、六方面となり、バスの台数及び運転手の確保の面から無理である。父兄の方から交替制等で、やっていただきたい。

Qスクールバスも通るので、寺田～儀明間の幅員の狭いところを改良していただきたい。

Aそういう所があれば担当課に検討させ、必要があれば改良したい。

Q早稲田大学の付属高校の誘致ができないか。

A総長はじめ大学関係者に機会があったら話をしたい。

Q来年より蒲生の中学生もスクールバスに乗せていただきたい。

A小学生を対象としたバスであり、路線バスの通っている所は路線バスとの兼ね合いもあり、難しい。

Q上越市から湯沢までの直通バスを通すように運動をしていただきたい。

A上越と湯沢間の運行には、越後交通の承諾が必要であるが、頸城自動車と越後交通の話し合いがうまく行かず実現しない。松之山町は「貸切バス」ということで、町外は乗降できないようなシステムでやっている。

Q蒲生小学校を譲渡するという話を聞くが、石碑を立てたいので一角を残してほしい。

A可能である。その時になったら現場を見て相談したい。

Q松代ファミリースキー場の夏場の利用として、ゴルフの練習場（打ちっぱなし）はどうか。

Aいろいろ研究中のところだが、そういう意見も含めて検討したい。

Q「どぶ池」の公園構想はどの程度のものか。

A中山間地事業でやる予定だが、事業の内容については計画の段階である。実施に当たっては、住民の協力を願いたい。

Q二五三号線の蒲生地内に歩道の設置を。

A県にもお願いしているし、県も実情は理解している。予算はついていないがやる予定である。ただし、片側のみである。

Q寺田分校跡地を部落で要望があれば払い下げてもらえるか。

A要望があればそのようにしたいが、今までの例だと無条件貸与ということでやっている。そういうことでお願いしたい。

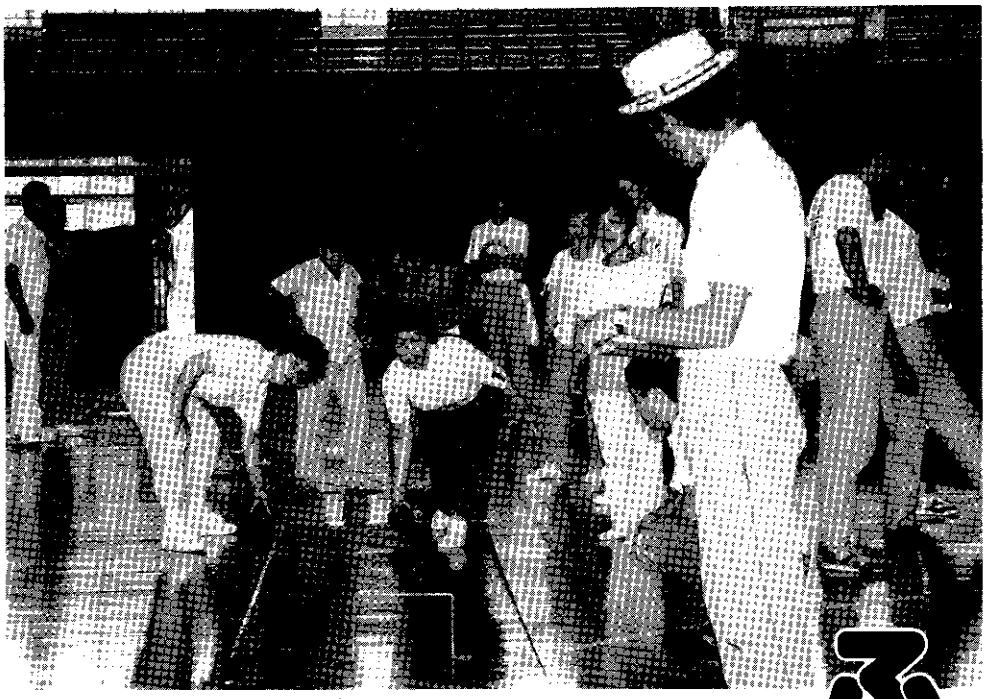
Q人口が減少する中でどのような町の活性化を考えているのか。

A大変難しい質問であるが、活性化のためにあらゆる事業を関連付けてやっている。若者定住条例の制定、住宅建設などUターンの促進を進めている。アートネイチャーの進出も予定されており、ほくほく線の開通、二五三号線の改良、高規格道路などができれば道は開けると思う。

Qスーパー特急が松代駅に止まる運動をしているのか。

AJRのスーパー特急は、湯沢から上越までノンストップという考え方であるので、JRも商売であるので、松代駅での乗降客が多ければ止めることになる。それまでは、北越急行を利用願いたい。（北越急行でも湯沢～松代間は20分程度で運行される予定）。

ふれあいスポーツの日



▲一投ごとに歓声の上がった
スマイルボーリング

生涯スポーツとして誰でも気軽に楽しめるレクリエーションスポーツの普及と、スポーツ人口の拡大を図ることを目的とした町教育委員会主催、第三回ふれあいスポーツの日が八月二日町総合体育館及び町民グランドにおいて開催されました。

今年も、昨年と同じスマイルボーリング、グランドゴルフの二種目が行われ、百六十人が心地よい汗を流しました。

スマイルボーリングは、ボーリングを室内で気楽に楽しめるように考案されたもので、五人一組で、十本のピンを相手チームより少ない投球で倒すことを競うゲームです。

今年は、昨年より三チーム多い二十一チーム、百二十四人が参加し、一投ごとに歓声が沸き上がるなど、優勝を目指し熱い戦いが繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

スマイルボーリング結果

Aブロック
優　勝　清水A
準優勝　太平友の会A

Bブロック
優　勝　仙納A
準優勝　ピッカピカほたる

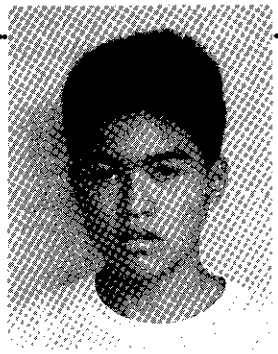
Cブロック
優　勝　太平友の会C
準優勝　室野中町

Dブロック
優　勝　ランナーズ
準優勝　ガンバローズ

Eブロック
優　勝　いけいけるいじんえん
準優勝　田野倉チビマルコチャン

ストライク賞
斉木美恵子（室野中町）
佐藤　タツ（室野北町）
樋口　繁勝（田野倉め組）
室岡節子（田野倉デカマルコチャン）
池田　清子（田野倉チビマルコチャン）
富沢佐一郎（ガンバローズ）
斉木　優（ガンバローズ）
高橋　洋一（ガンバローズ）

山賀洋平くん大活躍（陸上競技）



山賀　洋平くん

松代中学三年の山賀洋平君（池之畑）が、走り高跳び、三種競技で全国大会に出場するなど大活躍しました。また、体操部も県大会に出場するなど大活躍致しました。

成績は次のとおりです。

陸上の部

◎上越地区大会
- 山賀洋平　走り高跳び1位
- 三種競技A5位
- 小堺あゆみ　走り高跳び2位
- 三種競技A8位
- 柳　竜一　走り高跳び8位

◎県大会
- 山賀洋平　走り高跳び3位
- 三種競技A5位
- 小堺あゆみ　走り高跳び6位

◎北信越大会
- 山賀洋平　走り高跳び4位

◎全国大会
- 山賀洋平　走り高跳び12位
- 三種競技A24位

体操の部

◎上越地区大会
- ○団体総合　女子2位　男子5位
- ○個人総合　石口香織1位　小堺清治2位
- ○種目別
  - 小堺清治　跳馬6位　床6位　鉄棒2位　円馬2位
  - 石口香織　床3位　跳馬3位　平均台2位
  - 関谷知子　跳馬5位　平均台3位
  - 関谷真希子　平均台5位

◎県大会
- ○団体総合　女子5位
- ○個人総合
  - 小堺清治9位　石口香織12位

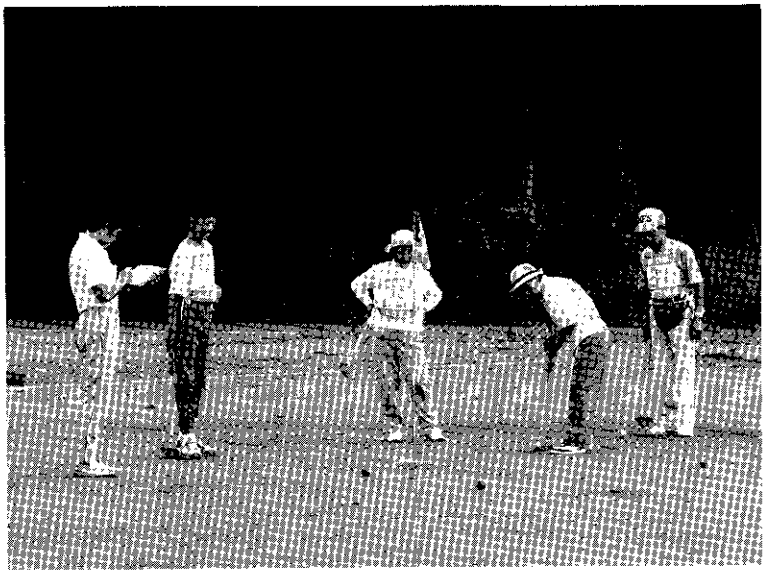
グランドゴルフは、町民グランド内に設けられた八個のホールポストに、いかに少ない打数でボールを入れるかを競う個人競技です。

今年は、昨年と同じ三十六人が参加し、六チームに別れ、それぞれのコースを回りました。その中で米持兼治さん（室野）が優勝、併せてホールインワン賞、ニアピン賞も獲得し、三冠に輝きました。

その他の方の成績は次のとおりです。

グランドゴルフ結果

順位	氏　名	その他の賞
1	米持　兼治	ホールインワン賞・ニアピン賞
2	富沢　忠平	
3	宮沢　義雄	
4	若月　政市	
5	関谷　寅夫	
6	笠原　益雄	
6	池田福一郎	
6	池田　辰大	ホールインワン賞
9	武田　俊彦	
10	柳　　晨	
11	武田雄一郎	
11	山賀豊次郎	
11	柳　宗市	
14	柳　兼松	
14	若月佐治郎	
16	関谷　詠子	
17	高橋　サツ	
17	小堺　ハナ	
17	牧田　長吉	
17	若井　ワカ	
21	小野島貞雄	
22	関谷　ランヨ	
22	武田フクヨ	
24	若井　キイ	
24	佐藤　猶栄	
24	山賀　カツ	
24	関谷　金平	
28	島田アイ子	
29	宮岡　茂八	
30	佐藤　ナカ	
31	高橋　マキ	
32	西方　晃	
32	富沢　トセ	
34	若井　モト	
35	小島　和貴	
36	山岸　一雄	



▲ホールポストを目指し熱戦の
繰り広げられたグランドゴルフ

自然の大切さを知ろう
アースワーク'92開催

自然環境との共生をテーマにした「アースワーク'92」が八月二十二日、二十三日の両日、生涯学習センター(旧清水小学校)で開催されました。

これは、「アース&ルーツ・プロジェクト」(小島達夫代表)と「アースワーク'92まつだい実行委員会」(柳健一会長)の主催によるもので、地球規模で環境破壊が進む中、遊び感覚で自然とふれあうことにより、その大切さを知っていただこうというものです。二日間で延べ三百人が会場を訪れ、日本自然保護協会理事の竹内彦司さんによる講演、校庭に隣接したぶなの森をステージにしたライブコンサート、太平在住のフラン・マクマーレンさん指導による「廃油を利用した石けん作り体験」などが行われました。

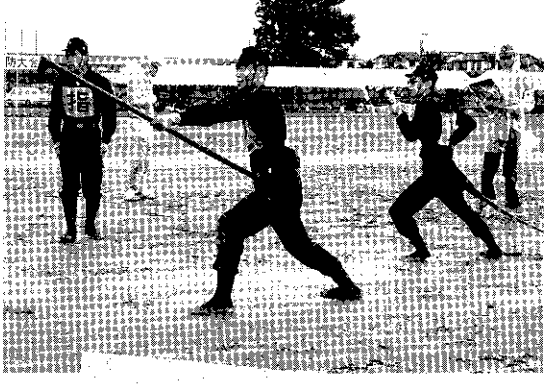
竹内彦司さんは、「不思議な森のお話」という演題で、「自然は人間に知恵、健康などたくさんの贈り物をしている。しかし、人間はそれらを十分に理解していない」と講演し、自然保護の大切さを訴えていました。

また、ライブコンサートでは小島達夫さんや佐藤三樹夫さんの外、県の内外から駆けつけたグループの演奏も行われ、ぶなの森には終日音楽が鳴り響いていました。その外、原始火おこし体験や松永洸さんによるバードウォッチングなども行われ、参加者は自然とふれあいながら楽しい二日間を過ごしていました。

「アースワークまつだい実行委員会」では、一人でも多くの人が自然環境問題に関心を示すことを期待し、来年以降も継続して開催したいと考えています。

▲フランさんによる廃油での石けん作り

◀ぶなの森コンサート



▲小型ポンプ操法を行う伊沢地区選抜メンバー。左から柳明男さん、山本勇人さん菅井幹雄さん、小島靖さん。

県消防大会

風雨の中 操法を披露
伊沢地区選抜メンバー

台風10号による強風が吹き荒れた九日、県、県消防協会主催の第四十三回県消防大会が開催され、当町の伊沢地区選抜メンバーが出場しました。今回は、台風の影響を考慮し、式典等は中止、操法競技会だけが約二千人の関係者を集めて三条燕総合グランドで行われました。

操法競技は、災害時における、ポンプ車、小型ポンプ操作の正確さと速さを競うもので、当町チームが出場した小型ポンプの部には上越市(優勝)、燕市など十八チームが出場しました。

大会会場は早朝からの激しい雨に強風も加わり、泥んこ状態の災害現場並みとなり、選手は足を滑らせたり、突風にあおられながらも操法を披露していました。特に当町チームの競技時には、風雨が一段と強まり、最悪のコンディションの中、ずぶ濡れになりながらも迅速な操法ぶりを披露しました。

残念ながら入賞はできませんでしたが、予備メンバーと共に六月から二か月間練習した努力と健闘に対し、温かい拍手を贈っていただきたいと思います。

生き！活き！
人生のために

生涯学習

生涯学習のマスコット「マナビィ」です。
石ノ森章太郎氏のデザインです。
愛称のマナビィは、英語のビィ〈蜂〉と〈学ぶ〉からつけました。
見かけましたらよろしく。

生涯学習シリーズ No. 2

今、なぜ生涯学習か？

これからの社会は「生涯学習社会」になると言われています。私だけは、そんな社会にかかわりたくない、という人もいるかもしれませんが、技術革新や産業構造の変化など、大きな社会の変化という渦の中で、自分だけが取り残され孤立して生きていくわけにはいかないのです。

また、これを逆に考えると特別意識して生涯学習しようと思わなくても、心豊かで前向きな生活を心がけている人にとっては、ごく自然に生涯学習に取り組んでいるものなのです。それは、おいしい料理を作ろうとしている時は、新鮮でいい材料をそろえようとする行為に似ています。

今なぜ生涯学習か、あえて理由を考えると次のようなことが言えます。勤労者の週５日制が浸透していく中で、余暇時間が増大していること。平均寿命が高くなり、高齢者が増加していること。科学技術が進展し、新しい機械や情報が次々と現れ、それを使いこなしたり整理する能力が、ひろく社会から要請されていること。

国際化、情報化、高齢化の社会のなかで、自分のライフスタイルに合った趣味や技術を身につけ、いきいきと充実した毎日を送ることが、社会の貢献に結びついていくことだと考えます。

中山間地農業を考える
「タスク・フォース21」
当町で開催される

中山間地農業の将来像作成のための「現地懇談会」が八月十九日、渡辺璋県農林水産部長も出席して、松代町総合センターで開催されました。この懇談会は、県の農業基本政策・グリーンプランの見直し作業、県農林水産業の二十一世紀ビジョンづくりに当たっている「タスク・フォース21新潟農林水産業」委員会が、現場の声を聞きたいと開催したものです。

当日は生産者、農家婦人、JA、森林組合、消費者、高校生、商工関係者ら二十一名が参加し、それぞれの立場から意見を述べました。内容は、担い手の確保と高齢者対策、基盤整備に集中したほか、補助金の平坦地と中山間地の格差を要望する声も出ていました。

当町からも、松代高校三年の佐藤勝之君、農業に従事されている高橋勝美さん、JAを代表して相沢美知さんが意見開陳者として参加し、農業に対する高校生の意識、農政に対する要望などをそれぞれの立場から述べていました。

なお、この結果等は九月上旬までに、新しい構想に盛り込む視点として、県に提出されることになっています。

気分は博士
早大の「松代町実験教室」

子供たちに理科の実験のおもしろさを体験してもらいたいと八月十日、松代中学校で「松代町実験教室」が開催されました。この教室は、早稲田大学の理工学部が地域に貢献したいと五年前から始めたもので、学外での開催は当町が初めてとなります。

当日は、松代小六年と松代中二年の児童・生徒九十人が参加し、七教室に分かれて早大理工学部の教職員二十七名の指導による実験に取り組みました。

「教室」では、同大学提供の太陽電池や形状記憶合金、トランジスタ、液体窒素などの機材や実験道具を使い、ソーラーカー（模型）の制作、電子回路工作、超低温実験など、ふだんの授業ではできない実験が行われました。中でも一千万円もする機材を持ち込んで行われた超低温実験では、セラミックの複合体で作った超伝導体を液体窒素でマイナス百九十六度まで冷やすと円盤が浮き上がり、生徒たちは実際に円盤の上に乗り「マイスナー」といわれる効果を体験しました。

その外、エンジンの解体、組み立てや、五十八度のお湯で溶解する低融点ハンダをプラスチックの鋳型に流し込み、ハートや星型のメダルを作る合金の実験、油からせっけんを作る実験なども行われました。生徒たちにとって、理科の実験の楽しさを体験し、「科学する心」を養う貴重な一日になったようです。

超伝導体の円盤に乗り、マイスナー効果を体験する女生徒

クリーンなエネルギーとして期待される太陽電池でソーラーカーを作る児童たち

▲遊歩道を歩く参加者

▲城山山頂で説明する佐藤正平さん（左奥）

室野地区

自然に親しみ歴史を学ぶ
お盆城山ハイキング

室野城山の自然に触れ、歴史もちょっぴりかじっていただきたいと八月十六日、「室野城山保存会」（草村昇会長）主催の「お盆城山ハイキング」が行われました。

このハイキングは、昨年遊歩道が整備されたことを記念して計画されたもので、夏空の下、地元住民を始め、お盆の帰省客など老若男女五十三名が参加し、約四・五㌔のコースを探索しました。途中の鷹狩場や室野城址などでは、佐藤正平さん（室野）から地名やそのいわれ、歴史などが紹介され、参加者は汗を拭きながら耳を傾けていました。また、子供たちは、せみやかぶと虫、くわがたなどの昆虫を見つけては大喜び、思わぬ収穫もあったようです。

終了後は、釣り池のほとりで渇いたのどをビールで潤し、山伏料理と名付けられた焼き肉料理を食べながら、お盆の一日を楽しく過ごしていました。

室野城山保存会ではハイキングの継続と共に、今後は、「城山山頂の景観を良くするための不要樹木の整備」「休憩所、駐車場の設置」「遊歩道の整備」などを図り、広く親しまれる地域にすることを目指しています。

東京松代会

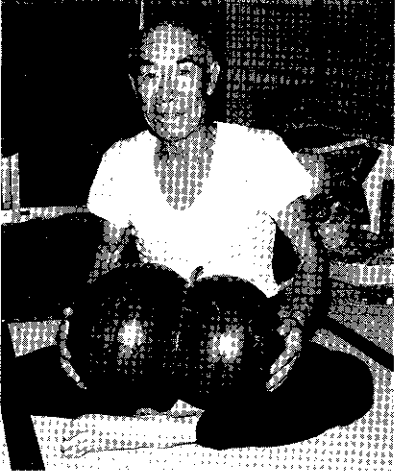
ふるさとのために何ができるか
「ふるさと有志とのシンポジウム」

東京松代会（関谷徳次郎会長）主催による「ふるさと有志とのシンポジウム」が八月二十九日、新宿モノリス29で開催されました。これは、当町の若者と意見を交換することにより、相互の理解を深め、ふるさとの活性化に役立つことを目的としたものです。

当日は東京松代会会員など八十名、当町からは「元気会」の会員、商工会関係者、役場職員など二十六名が参加し、意見発表や全体討議などが行われました。意見発表では、当町の柳健一さんや桜沢正一さん、横尾賢治さん、樋口彰さん、高橋産業企画課長がパネラーとして出席し、「元気会の活動」「松代町の現状」などを説明しました。また、東京松代会の笠原清さんや小野島進さん、柳重次さん、井上市郎さん、米持雅朗さんからは「ふるさとと東京松代会との交流のあり方」「ふるさとの活性化のための具体的提言」などが発表されました。また、全体討議では、「こういった会を継続的に」「町といった単位でなくもっと広域的に考え行動してほしい」といった意見が出されていました。

なお、詳細につきましては、東京松代会より各家庭に資料が配布される予定ですので、そちらをご覧ください。

あれれ!? スイカが？…



▲双子スイカと関谷さん

先月は「きゅうりの話題」をお送り致しましたが、今月は「双子のスイカ」の話題をお送り致します。

この双子のスイカ（写真）は、関谷倉蔵さん（松代）の畑で採れたもので、横幅四十㌢、縦二十八㌢ありました。成長していく過程で、となり合わせの二つのスイカがくっついたものでしょうか？

あんまり仲良くくっついていて、どっちから食べようか迷いそうですね。

「田舎の味」覚えたぞ
自由の森学園
ソフトボールチーム合宿

福島地区と交流のある埼玉県飯能市の学校法人「自由の森学園」の女子ソフトボールチーム十一人が八月二十六日から四日間、福島の高齢者・若者活性化センターで合宿を行いました。

自由の森学園と同地区との交流は、今年の二月の「雪国体験交流ツアー」で同学園の父兄二十四人が訪れたことをきっかけに始まったもので、ご記憶の方もあるかと思います。

一行は、合宿所となった活性化センターで地元主婦からヨウ

▲奴奈川小学校で練習に励むソフトボールチーム

▲活性化センターでは、福島主婦から田舎料理を教わり交流を深めた

ゴ汁の作り方を教わり、いわゆる「田舎の味」を味わいました。台所からは、「これでお嫁に行けるね」「野菜大好き」といった会話が飛びかうなど、絶えず笑い声が聞こえ、楽しい交流となったようです。また、ソフトボールの練習は奴奈川小学校のグランドを借りて行い、夏休み中の同校のグランドには、元気のいいかけ声が響き渡っていました。

東京発

ブナの里を想う

斉木誠市

（埼玉県川口市在住
中子　新宅）

「ふるさと」なんという温かい響きの言葉であろうか。

私も古里を離れて四十有余年。若い時は子育てとか生活に追われて、しみじみと望郷の想いに浸っている時間がなかったが、馬齢を重ねた今日このごろは、やたらと古里へ〜である。

特に昨年東京松代会が創立され、会員になって改めて我が古里の素晴らしさ、人情風俗の暖かさに接してホッと生き返るような気持ちである。

松代会創立以来幾つかの催しものに参加し、その模様は先輩の諸兄姉が会報等に詳細に報じていられるので割愛するが、最近感銘を深くしたのは七月二十五日に松代町総合センターで行われた、東京松代会主催の講演会に出席させて頂いたことである。

講師は関谷会長の知己である宮田洋二郎氏で、海上自衛隊横須賀地方総監部防衛部長で一等海佐とのこと。昔の海軍でいうなら海軍大佐で超エリートとか。どんなオッカナイ人かと越後湯沢で当日お会いしたら、「エッこの方が？」と、思われる様なやさしい温顔で、飾りっ気のない方で驚いた。

松代町に着き、二階の休憩室で一等海佐の正装に着替えられて、戚風あたりをはらうというか、凛然とした姿に驚き、三階の会場になんと三百名の松代町の方々が待っていられるのには又々驚いた。なんだか驚いてばかりいるうちに講演が始まった。

私が感銘を深くした内容を二、三抜粋すると、「歴史に学ぶ日本の進路」では隆盛を極めた国が亡びる時の条件として、尚武の気風の欠落とか、戦略の失敗は戦術ではおぎなえないといったことである。

第二部の「戦略的思考とリーダーシップ」では「目標の単一」。ミッドウェー海戦の例を引いて、目標は一つに絞ること。二兎を追うな。（耳が痛い）。「目標の堅持」途中で目標を変えない。それと初めて聞いた言葉で「狡兎の三穴」。事を行う場合三つくらいの対応策を持て。最善策に次善の策に、もう一つくらいの策を持って当れば成功疑いなしと。

紙面の都合であまり書けないが、これからも東京松代会員としてこの様な機会に参加し、ボケない様頭の運動をして少しでも松代町のお役に立てれば、と念願している次第である。

参加者募集

秋の収穫と田舎料理にチャレンジ
越後まつだい秋の陣

■旅行日／10月24日(土)〜25日(日)
■募集人員／50人
■参加費／大人 14,600円
　　子供 13,100円
■集合／午前10時30分松代町役場前集合
■行程

●1日目　松代町役場（10：30）──芝峠きのこ園（11：00〜12：00）（シイタケの駒打ち体験）──昼食（12：00〜13：00）──田舎料理体験（カラコ、アンボ作り）（13：00〜16：00）──野菜の収穫（大根、サツマイモ掘り等）（16：00〜17：30）──芝峠温泉浴（17：30〜）──宿（松苧ドミトリー）・ゲーム大会

●2日目──松代城登山（9：00〜10：30）──松代町郷土史料館（10：30〜11：00）──バーベキュー大会（11：30〜13：00）

■イベント／●シイタケのほだ木駒打ち体験
　●野菜採り（大根、サツマイモ掘り）
　●田舎料理体験（カラコ、アンボ作り）
　●ゲーム大会
■お食事／1日目昼食　コシヒカリおにぎり、なめこ汁
　夕食　田舎料理
　2日目朝食　田舎料理
　昼食　バーベキュー
■おみやげ／コシヒカリ1.5kg、採りたての野菜、シイタケのほだ木
■参加者持参品／雨具、山の服装、長靴
■問い合わせ・申し込み先
　松代町役場 産業・企画課
　TEL　02559−7−2220
　FAX　02559−7−2526

文芸

しぶみ句会

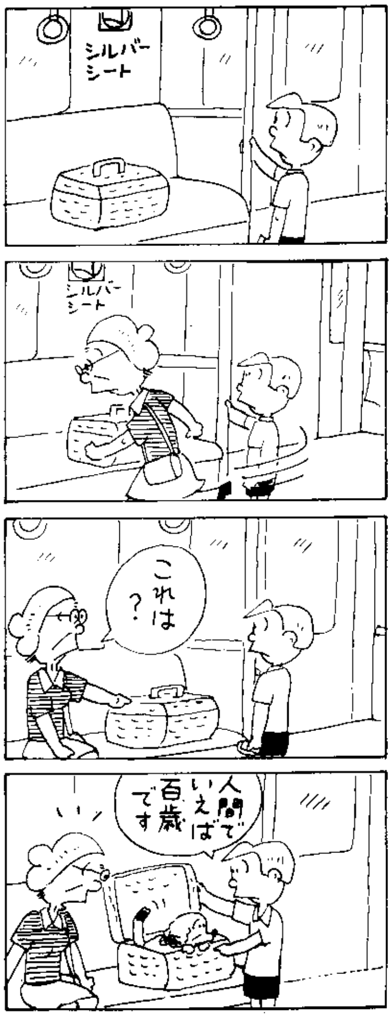
涼風の吹きぬけてゆく座禅堂　六花
蛍を右に左に澁海川　去水
老農に稲の穂肥の時期を問う　枯水
草引きて境内盆を待つばかり　八千代
猫眠る縁の下こそ涼しけれ　紅茶
酒の酔少し残して端居かな　淡水
稲裂いて穂肥のときを定めけり　公鳴
惜しまれつ逝かれし人や合歓の花　昌弘
遠近に蜩　今日も暮れんとす　たつお
梅雨のない北海道の大地ゆく　有正
今もなお大炉大鍋寺施餓鬼　とし子
桑の実を摘む子もなくて路を染め　善一
水溜り数えて跳ぶ児梅雨晴間　三代
梅を干すいつしか母の背の丸き　貞子
教え子の丹精こめし薔薇咲けり　千登世
珍客の夏炉をほめて茶を飲めり　哲山
明け切らぬ闇に谺しほととぎす　静

蒲生句会

てのひらで切る冷奴　早夕餉　ふさ女
縁の下に子連れ猫住む猛暑かな　泥水
蛍火の滅するときの闇深し　山葉
赤く燃ゆ敗戦遠きカンナかな　耕人
在りし日の母が使いし古団扇　月日
大根の芽の揃いたる夕べの雨　鐵堂
座を占める一輪挿しや夏座敷　折人
朝顔の花数えいる孫二人　翔山
干瓢を石より剝がす雨催い　耕山
寝茣蓙にも甚平にも慣れ肥ゆるらし　龍峰

さわやか君

西村宗



庭の草木

キョウチクトウ（キョウチクトウ科）

栽培される常緑低木で、革質の厚い葉が三枚ずつ輪生する。夏、枝の先端に径三センチほどの淡紅色の花を開く。花の下部は細い筒状で、上部が四〜七裂している。

夾竹桃は中国名で、これを音読にしてキョウチクトウの和名になった。

キョウチクトウは、紅色八重のヤエキョウチクトウが普通で、ほかに純白のシロバナキョウチクトウ、淡黄色のウスキキョウチクトウなどがある。

有段を目指して

詰将棋

出題　八段　北村昌男

●ヒント…持駒三枚のなかで、香は最後に使います。最初は？
10分で3級、4分で初段

6	5	4	3	2	1	
		金				一
		銀	銀		歩	二
		歩	王			三
	歩			歩		四
			歩			五
						六
						七
						八
						九

持駒　飛角香

〈詰将棋正解〉1一角、3二玉、2二飛、3一玉、2一飛成、同玉、2三香、1二玉、2二角成まで9手詰め。
〈解説〉初手は3四飛と思えますが、2二玉、2四飛、3一玉以下続きません。1一角が好打で、2二合駒なら3四飛の詰み。3手目2二飛から、2一飛成がさわやか手順です。

中・高年齢者集団選考会

中高年齢者の雇用の促進を図るため、就職を希望する者と事業主との「集団お見合い方式」による選考会を行います。

◎日時　10月15日（木）
午後1時30分～午後4時

◎場所　上越地域職業訓練センター
上越市高土町３－１－５

参加希望者は、事前に上越公共職業安定所へご連絡ください。
（☎0255-23-6121　内線212）

魚沼テクノスクール
生　徒　募　集

◎募集科名及び定員
電気施設科　15名（１か年）

◎応募資格
高卒以上30歳以下

◎願書受付期間
９月１日～10月５日

◎選 考 日
10月20日　午前９時から

◎問い合わせ先
魚沼テクノスクール
☎ 025579－４－2410

火災多発！
早くも4件（平成4年）

平成４年に入り、松代分遣所管内では、例年になく火災が多発し早くも４件（出火消し止め含む）となりました。

原因をみても、ちょっとした不注意やミスによって起きており、いわゆる失火によるものが大部分です。その火災を予防するには、火気取り扱い上の不注意やミスを防止することが重要であり、そのためには日頃忘れがちな家庭における、防火上の注意事項を生活ルールとして習慣づけることが大切です。

また、秋の取り入れも始まり、気ぜわしくなる事と思います。例年乾燥機による火災が上越消防管内でも発生しておりますので、併せて火災の防止に一段の注意をお願いいたします。

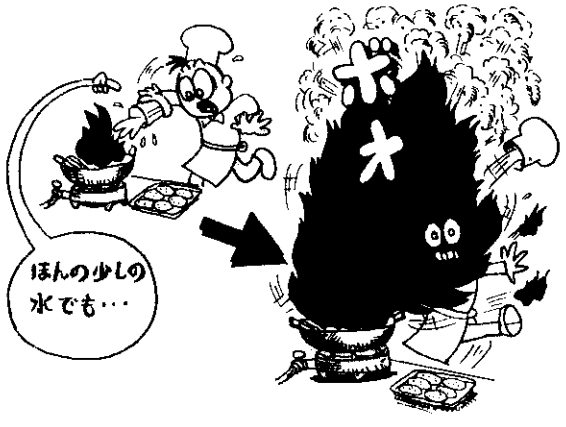
「火の用心」「火の用心」

◇ お 知 ら せ ◇

松代分遣所では、各部落、各集会等で火災予防の話し合い（懇談会）、消火実験、映写等いつでも受け付けておりますので、希望される方は気軽に連絡下さい。

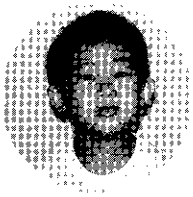
連絡先　松代分遣所　☎７－２３１０

○天ぷら油鍋を火にかけてから着火するまでの時間は、意外に早いものです。１リットルの油を普通のこんろで過熱した場合、およそ12～13分で火がつきます。



みんなよく見てねっ!!

石田友美（ともみ）ちゃん
5　歳
寺島　こうえんど



重野孝彦（たかひこ）くん
5　歳
松代　釜田住宅

相沢美花（みか）ちゃん
5　歳
太平　ひょうぜん

2級ボイラー技士
試　験　案　内

1．日　時　平成４年11月15日
2．会　場　県立柏崎工業高校
3．申し込み・問い合わせ先
日本ボイラ協会新潟支部
〒950 新潟市東万代町１-30
新潟東万代ビル
☎025－245－7535
4．申し込み期限
平成４年９月18日

停電のお知らせ
９月２４日(木)
午後１時～３時30分
松代の一部

☆ 秋の道　ゆずる気持ちと　待つゆとり ☆

お知らせ

町民マラソン大会
参加者募集

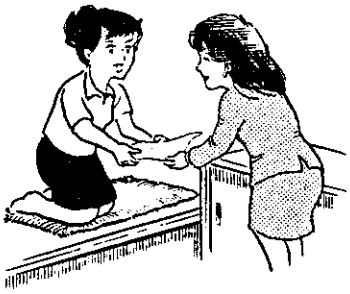
日　時　10月4日（日）
会　場　松代町民グランド
種　目　1km・2km・3km・5km
申し込み・問い合わせは
松代町総合体育館へ
☎7－3752
申し込み期限　9月25日(金)

就業構造基本調査
ご協力をお願いします

10月1日現在で、就業構造基本調査が実施されます。この調査は全国で約43万世帯を調査対象とする大規模な統計調査で、松代町でも、約80世帯の皆さんにご協力をお願いすることになっています。9月上旬に準備調査を行い、それを基に無作為抽出という方法で調査対象世帯が選ばれます。

調査をお願いすることになった世帯には、調査員が9月下旬から調査票の配布にお伺いしますので、ご協力くださいますようお願いします。

10月1日　就業構造基本調査



御協力をお願いします

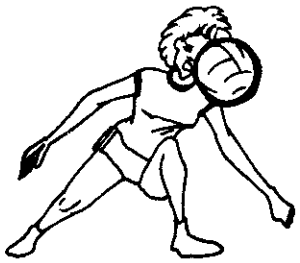
「老人医療受給者証」が更新されます

10月1日から老人医療受給者証が新しくなります。現在使用している受給者証は9月30日限りで使用できません。ご注意ください。

※新しい受給者証は九月下旬に、役場から区長さんにお届けいたしますので、古い受給者証と引き換えてください。

お願い

○受診の際は必ず受給者証を窓口に提示してください。
○転出の際は、必ず受給者証をお返しください。
○交通事故などで受診される場合は、病院の窓口・役場の国保の窓口に届け出てください。



町長杯バレーボール大会
参加チーム募集

期　日　10月11日（日）
会　場　総合体育館
種　目　6人制バレーボール
対象者　一般・高校生
参加料　1チーム　2,000円
（協会登録チームは無料）
申込先　総合体育館事務室又は役場総務課石口へ
申込〆切日　9月30日
その他
○男女混合チームでもよい。
○試合方法は、参加チーム数によって決めます。
○申込み〆切日を守っていただかないと他のチームに迷惑がかかりますので、〆切日までに申し込みください。

慢性疾患教室のご案内

糖尿病、高血圧、高脂血症、肥満などで悩んでいらっしゃる方、病気について少しでも知りたいと思っていらっしゃる方、ご家族の方など、どなたでもご参加ください。

専門家からのワンポイント指導を行います。

◎日時・テーマ
10月7日　午後1時～5時
「糖尿病について」
10月21日　午後1時～5時
「高血圧、高脂血症について」
◎場　所
県立松代病院　3階会議室
◎指導内容
①病気について
②食事について
③生活、運動療法について
④薬について
◎申し込み先
松代病院　内科外来まで
☎02559(7)2100
◎その他
料金無料。受け付けは12:30～。昼食は済ませておいでください。

☆ 秋の全国交通安全運動　9月21日～9月30日 ☆

1992 No.394
9月号
平成4年9月10日
（毎月1回発行）

ひと

松代に残って

高橋千秋さん（茹平）

4月から、社会人一年生ということで働き始めて、やっと四か月がたちました。今、私がやっている事は、皆、慣れないことばかりで、一日がとても長く感じます。

私は昨日まで、「社会人はいいなぁ」と思っていました。理由はただ一つ。学校に行く私にとって、勉強は一番嫌いなことでした。だから社会人になれば、「勉強がない」と思っていたのです。でも、それは大きな間違いでした。今の私にとって、毎日が学校の勉強以上にむずかしいように感じ、勉強嫌いな私には、とても大変です。でも、一日も早く覚えていきたいと思います。

8月に、県外に出て行った友達が、夏休みで帰ってきました。みんなとは、4ヶ月ぶりに会うだけなのに、だいぶ大人っぽくなってました。その点私は、みんなに「変ってないね」なんて言われて、ちょっと悲しくなってしまいました。でもそんなに、〝変わったね〟とも思われたくないですけど。

私はこの松代町に残ってて、良かったと思っています。多少は、友達みんなと別れて寂しい時もあるし、相談相手が遠くに行って悲しい時もありますが…。でも、この松代町にいると私の知らない人でも「○○の娘だろ」って声を掛けてきてくれるし、知ってる人でも普通に声を掛けてくれるので、松代にいて良かったと思います。

これから先、ずっとずっと松代にいたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

戸籍の窓口

（7月26日～8月25日受付）

げんきな良い子に（出生）

小堺裕介ちゃん　真吾・ますみさん
（長男・室野・小堺板金）
深山智裕ちゃん　恵一郎・晋子さん
（長男・松代・釜田住宅）
佐藤亮太ちゃん　丈行・春枝さん
（2男・滝沢・きぜん）
市川利政ちゃん　修・玉子さん
（長男・松代・大上）
関谷　唯ちゃん　常夫・ユリ子さん
（長女・松代・善宗塚住宅）

ご冥福を祈りします（死亡）

佐藤勝榮さん　80歳
（竹所・三枚田）
関谷武夫さん　63歳
（松代・やえん）
高橋ツルさん　79歳
（小荒戸・はしごだ）
宮澤ソノさん　89歳
（下山・干場）

ことわざ

＊相手のさする功名

自分の力が優っていたためではなく、相手のほうの力が弱かったり、相手のミスなどによってつかんだ思わぬ手柄のこと。

＊相手のない喧嘩はできぬ

けんかは相手があってこそ起こるもので、相手が取りあわなければけんかにはならないということ。また、だから、相手になるなということ。

人口の動き

男	2,518人	（＋5人）
女	2,568人	（－1人）
計	5,086人	（＋4人）
世帯数	1,523世帯	（＋3世帯）
出生	5人	死亡 5人
転入	10人	転出 6人

（4年8月末日現在）

編集後記

▼九月十五日は敬老の日です。各地で長寿を祝う催しが行われるものと思いますが、健康で長生きをしたいものですね。今回は、ボケ防止に「新OL用語」を紹介しますので、頭の体操にいかがでしょうか？▼それでは問題。次の言葉の意味を。①桜田する②四高③ウランちゃん④アトム君⑤パセリ君▼答は①ハイミスの結婚②高学歴、高い身長、高収入に加え、高年齢。三高にアグラをかいているうちにオジンになってしまった男③一高、二高ではダメ。三高にしか自分を売らない（結婚しない）女性。④もう後がない、三十代以降の男性⑤最後まで残ってしまうモテない独身男▼あなたはいくつ分かったでしょうか。全部分かった人、一百歳まで大丈夫。全然分からなかった人、死ぬまで生きるでしょう。それではまた。

■発行／松代町役場総務課
■〒942-15 新潟県東頸城郡松代町大字松代3352番地1
☎02559(7)2220　FAX02559(7)2526